

平成 23 年（2011 年）6 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（4 日目）

平成 23 年 6 月 27 日（月）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	桑 江 豊 (公 明 党)	1 環境行政について	漫湖(小禄側)の河川敷について以下伺う (1) 河川敷ができた経緯 (2) 不法投棄の現状と対策 (3) ホームレスの現状と対策
		2 交通安全行政について	「宇栄原団地北側線」と「宇栄原団地線」が交差する地点について以下伺う (1) どの市道が優先か (2) 標識設置と路面表示の計画があるか
		3 道路行政について	「ブロック歩道」について以下伺う (1) 破損場所の把握と改修予定（小禄金城 2 号・県道 7 号線） (2) ブロック歩道乗り入れ口の今後の対応
		4 病院行政について	那覇市立病院での窃盗事件について以下伺う (1) 事件の概要 (2) 再発防止策
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	新 屋 清 喜 (そうぞう)	1 スポーツ行政について	1981年にここ沖縄でアイスホッケー連盟が誕生した。2004年12月、第24回少年九州ブロック大会アイスホッケー競技において、初勝利を皮切りに、その後も数々の優秀な成績を上げており、今年3月には第27回九州小中学生アイスホッケー選手権低学年の部では沖縄代表が見事優勝している アイススポーツ人口がここ暖かい沖縄で、着実に増えているにもかかわらず、それをバックアップする本市の姿勢がまだ見えていない。そこで現在の小中学校におけるアイススケートに対しての取り組みについて以下伺う (1) 本市の体験済小中学校は過去3年間で何校あるのか伺う (2) その後の子どもたちの反応はどのように報告されているのか伺う (3) 今後、教育活動の一環として、体験学習をカリキュラムのひとつとして取り入れる予定はないか伺う
		2 環境行政について	市民の憩いの場である公園であるが、利用する立場からすると、和式トイレは不便であり、親切設計とは言えない。 (1) 本市の公園以外の公共トイレの数は幾つあるのか伺う (2) 本市の公園内にある便器の数は幾つあるのか伺う (3) 公園内の和式トイレと洋式トイレの設置状況はどうなっているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（4日目） 平成23年6月27日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	平 良 仁 一 (自民・無所属 連合)	1 道路行政について	(1) 市道小禄南24号の歩行者の安全対策について (2) 道路上の電柱の民地への移設について伺う (3) 小禄南24号と16号の交差する狭隘部分の安全対策について、当局の見解を伺う
		2 小禄支所建設について	(1) 小禄支所を建て替える計画があるのかどうか当局の見解を伺う (2) 計画があれば場所は現在の場所か、それとも別の場所になるのか伺う (3) 規模的にはどのくらいの規模になるのか伺う
		3 旧那覇市伝統工芸館について	(1) 管理はどのように行っているのか伺う (2) 管理費用はどのくらいか伺う (3) この施設の場所は、前回の答弁では都市計画で道路になる予定と言うことだが、時期はいつごろになるのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	瀬 長 清 (自民・無所属 連合)	1 リサイクル 行政について	建設リサイクルの推進及び分別解体について持続的発展を可能にするためには、「循環型社会」構築に向け建築分野においては、建設リサイクル法に基づき、建設副産物のリサイクルを推進する必要がある そのためには、建設現場での分別解体、分別排出を強化することが必要と考えるが、那覇市の取り組み等について、所見を求める (1) 那覇市内における工事で建設リサイクル法の対象となる一定規模の工事とは、どのようなものか伺う (2) 那覇市が発注している公共工事について、どのように分別解体がなされているか、また、民間工事の場合はどうなのか伺う (3) 那覇市及び教育委員会の発注の工事現場における建設副産物については、どのように指導しているか伺う (4) エコマール那覇リサイクル棟が完成したが、どのような循環型社会を推進するのか伺う
		2 道路行政について	那覇空港自動車道・小禄道路の整備について 那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ、那覇空港自動車道については小禄道路のみが未整備区間となっている。同道路については、平成 23 年度から新規事業化された事業であり、その進捗状況について当局の所見を求める (1) 那覇空港自動車道・小禄道路の現在の進捗状況と、平成 23 年度は主にどのような事業内容であるのか伺う (2) 完成及び 4 車線供用開始は、いつ頃予定されているのか伺う (3) 那覇沈埋トンネル道路は、いつ開通されるのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 税務行政について	那覇市軍用地に対する固定資産税の軽減措置及び算定評価の見直しについて 去る5月21日付けの新聞報道によると、安次嶺地区の軍用地主から那覇市軍用地に対する固定資産税の件について、要請があったとのことだが、軍用地の課税に対する当局の所見を求める 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	前 泊 美 紀 (無 所 属)	1 教育行政について 2 沖縄少年会館の理念継承について 3 久茂地公民館施設について	沖縄が日本復帰して今年で 39 年を迎えた 復帰を経験した世代が高齢化していく中で、復帰を知らない若い世代が増えていることを懸念する声もある (1) 本市の教育現場では復帰をどう教えているか (2) 復帰を伝える意義について、見解を伺う 久茂地公民館の機能移転先である牧志駅前ほしぞら公民館が 7 月 8 日オープン予定である (1) 沖縄少年会館の価値と理念継承の意義について、見解を伺う (2) 久茂地公民館の前身である沖縄少年会館の理念を新しい公民館でどう継承していくのか プラネタリウム、寄贈されたピアノ、「母の光」像、沖縄少年会館設立当時の図面など、具体的な物についても伺う 久茂地公民館施設は、去る 3 月末に行われた耐力度調査の結果を受け、予定より一月早い 5 月 1 日に休館した (1) 建物の管理と現状について伺う (2) 同建物及び土地の今後の活用予定について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 津波・地震・ 原発災害の対 策等について	東日本大震災では、わずかな避難時間の差、避難場所の高さが生死を分けている。 (1) 本市の津波対策で見直すべき課題を問う (2) 本市の地域防災計画で想定している津波 2 m の場合の浸水地域の割合、津波想定 10 m に見直した場合の浸水地域の割合を問う (3) 本市の地盤は、その成り立ちから海岸埋立地・沖積層低地などの軟弱地も多く、同地域は地震時の揺れも大きくなる。本市の地域防災計画で想定している地震（最大震度 6 弱の揺れ）によって、液状化が起きる危険度の高い地域の面積割合を問う (4) 本市は、政府の地震調査委員会が発表した全国の都道府県庁所在地で 30 年以内に震度 6 弱以上に見舞われる確率は 24.9%（全国 19 位）と上位にあり、東京よりも高い。ところが耐震基準（地震係数）は東京などよりも 30% 低く全国最低である。建物の耐震強度を高めるために、沖縄の耐震基準（地震係数）の見直しを関係機関に求めるべきではないか (5) 水道管路の耐震化率は全国 47 都道府県庁所在地平均 17% で、本市は 2%（2 月 22 日本議会答弁）しかなく、震災への備えがきわめて不十分である。本市の地域防災計画での想定地震（最大震度 6 弱の揺れ）で受ける水道施設の被害想定と断水被害の予測を問う (6) 災害に強いまちづくりへ、重要かつ緊急性の高い管渠を優先して耐震化することや、避難所のトイレ機能の確保などの対策を促進すべきではないか (7) 児童・生徒が津波から自分や家族を守る力を身につける、生き抜く力を育てる「津波防災教育」を学校現場で積極的に促進することが課題となっている。授業のなかで「津波防災教育」が実施されているかについて問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 米軍基地問題について	(8) 福島第一原発の重大事故を経験して、原発と暮らしは両立できない、原発はいらない、原発依存のエネルギー政策は根本的な転換をと求める声が、世界でも日本でも急速に広がっている。日本政府は、原発からのすみやかな撤退、自然エネルギーの本格的導入を進めるべきと考えるが見解を問う 私は国頭村出身、多くの国頭村民と国頭村出身者は、怒り心頭である。防衛族議員として自らの利益確保のためなのか、米軍基地押しつけに奔走する下地幹郎代議士に、6月6日・市民団体が抗議、6月12日・嘉手納基地の機能強化、爆音激化許すな！嘉手納基地統合案粉碎を目指す住民集会で「この怒りの声を下地幹郎国会議員に届けよう」との音頭で参加者がガンバロウを三唱し憤りを表明、6月15日・国頭村安波区元区長や有志が抗議、6月20日・「森と水とやすらぎの里」をキャッチフレーズに豊かな自然をいかした村づくりを進めている宮城馨国頭村長もキッパリ安波地区案反対を伝え撤回を求めるなど、大きな怒りが広がっている 安波地区案の近接地は、那覇市民と県民の命の水を確保する安波ダムの水源地で、世界的にも貴重なノグチゲラやヤンバルクイナ、ホントウアカヒゲなどの鳥類をはじめ、哺乳類ではケナガネズミやオキナワコキクガシラコウモリなど、多くの希少な鳥獣が生息し、国指定やんばる（安波）鳥獣保護区、国指定やんばる（安田）鳥獣保護区もある。全国・全世界的に批判が高まることは明白である。 生活・自然環境を破壊し、国頭村を米軍の侵略戦争の発進基地・爆音の村にする安波地区建設案は言語道断である。市長の見解を問う また、県民総意を踏みにじり名護市辺野古の現行案の押しつけを進めることを確認した日米安全保障協議委員会（2プラス2）・日米両国政府の態度への見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者 関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	與 儀 實 司 (自民・無所属 連合)	1 奥武山カヌーフェスティバルについて 2 君が代斉唱について	国場川や久茂地川、漫湖を身近に感じてもらおうと第 1 回奥武山カヌーフェスティバルが昨年 5 月 23 日に開催された。5 キロ、10 キロのトリムレースと体験会に約 170 人が参加した。体験者によると、せっかく素晴らしい催しも 1 回限りでは寂しいとの声が聞こえた。7 月には「さいおんスクエア」のまちびらきが行われる。その中でカヌー実演会も予定されているようだが、以下について伺う (1) カヌー実演会の催しはどのような形で決定されたのか。何を目的に何を期待してプログラムに組み入れたか (2) 奥武山カヌーフェスティバルを今後も継続して応援（支援）していく考えはないか (3) 民間組織にゆだねるだけでなく市が主体となっていくことは考えられないか (4) スポーツ学習としての取り組みは検討できないか 入学式などの君が代が斉唱時に教職員に起立・斉唱を義務づける全国初の条例が大阪府議会本会議で賛成多数で可決、成立した 起立を指示した校長の職務命令を合憲とした最高裁判決も、起立・斉唱せず、懲戒処分を受けた府立高校元職員の提訴を退け、敗訴が確定した。国旗国歌法が成立したにもかかわらず、「現場、強制に疑問」とマスコミをにぎわしている。法律では明確に日の丸（国旗）君が代（国歌）を位置づけている。以下について当局の見解を伺う (1) 学校現場一部で受け入れがたいと言われている理由は何か (2) 強制を強いるのではなく自発的に行為に移すことが出来るようにするにはどうすればいいか見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 県花デイゴについて	(1) 本市には、公園、街路樹などに活用されているデイゴは何本あるか。(過去、現在の状況を把握しているか) (2) 今後、植樹の予定があるか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	山 川 典 二 (改革クラブ)	1 防災・道路 行政について	(1) 台風 2 号による本市の被害額は幾らか (2) 停電から復旧までの実態についてはどう だったか (3) 電線地中化の現状について伺う (4) 本市の主要幹線道路沿いは全て「電線の地 中化」を図るべきだと思うが、当局の見解を 伺う
		2 医療観光行 政について	医療と観光を結びつけた新たな産業創出を目的に産官学連携の「万国医療津梁協議会」が今月 20 日発足した 本格的に事業が始まり、「沖縄国際医療交流特区」の創設など今月末に県に制度提言するなど、観光の高度化、地域の活性化を目指す方針である (1) 同協議会との連携 (2) 医療観光について本市の取り組みと見解 について伺う
		3 環境行政に ついて	トンガ王国の「ごみ分別支援事業」の「美ら島 ババウ・もったいない運動プロジェクト」につ いて伺う (1) プロジェクトの目的と現状 (2) 計画実施の時期など今後の取り組みと、目 指すゴールは何か
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 23 年 6 月 27 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	久 高 友 弘 (改革クラブ)	障害福祉について	(1) 那覇市障害者福祉センターの指定管理者に応募するための手続き方法について伺う (2) 那覇市保健福祉医療審議会の役割と組織構成員を伺う (3) 那覇市地域活動支援センターⅡ型事業が障害者自立支援法第 79 条第 2 項の規定による「障害者福祉サービス事業等開始届出書」を県に届け出たのはいつか伺う (4) 上記の届出を受けて「那覇市地域活動支援センターⅡ型事業委託契約書」はいつ那覇市と締結されたか伺う また、Ⅱ型事業に対する国庫補助金の交付はいつから行われたか伺う (5) 那覇市障害者福祉センターの事業費が指定管理料と委託料と年度によって使い分けがなされている理由を伺う (6) 平成 17 年度身体障害者デイサービス支援費を社団法人那覇市身体障害者福祉協会に支払った金額とその中の那覇市の負担金を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長